

認知作業療法 の基礎と実践

参加費
無料
定員40名

いま作業療法に必要なのは“患者自身が自分と向き合える作業”を提供することである。つまり、“患者を治す視点”から“セルフヘルプペイシェントを作る視点”へのパラダイムシフトである。作業活動を提供するカウンセリング技術(認知行動療法)によって、患者に行動変容を促し、ADL、QOLともに改善できる。この効果を発揮できるのは作業療法士だけである。(BOOK データベースより引用)

今回の研修会では、日本認知作業療法研究会より大嶋伸雄先生、高橋章郎先生、下岡隆之先生の3名の講師をお迎えし認知作業療法の基礎理論やカウンセリング技術を実際の演習を通して学ぶ貴重な機会となります。身体・精神・老年・発達領域を問わず共通して学べる内容ですので、皆さま奮ってご参加ください。

日時

平成31年2月9日(土) 9:00~17:30

場所

新上三川病院 講堂
(河内郡上三川町上三川2360番地) 駐車場あります

対象

領域・経験は問いません。
全ての作業療法士が対象です。

講師

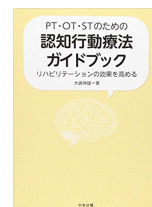


大嶋伸雄先生(首都大学東京)
高橋章郎先生(首都医校)
下岡隆之先生(帝京平成大学)

大嶋先生の主な著書

PT・OT・STのための認知行動療法ガイドブック
—リハビリテーションの効果を高める—
2015(中央法規出版)

患者力を引き出す作業療法—認知行動療法の応用による身体領域作業療法—
2013(三輪書店)



主催：栃木県作業療法士会学術部 地域・全領域研修
共催：日本認知作業療法研究会



問合せ・申込み先: tochigizenot@gmail.com